

日中友好のしんぶん

大阪と中国

●編集・発行

特定非営利活動法人

大阪府日本中国友好協会

〒543- 大阪市天王寺区大道5-4-6
0052 大阪スカウト会館2F

TEL06(6770)0080 FAX06(6770)0707

●発行日 2015年9月1日 №237

●定 価 200円

宛先：大阪府日中(jcf@mail.infomart.or.jp)

<http://www.kaigisho.com/jcf>

題字は王个簃氏

大阪府・上海市友好交流提携35周年 特集号



総会後の記念講演会で 講師の毛丹青氏



総会後の創立65周年記念祝賀会の会場にて
大阪総領事館副総領事・孫忠宝、毛丹青氏らと



南京城壁保存修復20周年記念で訪中した関西ブロック訪中団と
大阪府女性訪中団が5月15日、式典会場で合流



大阪府日中女性訪中団、平山美知子・協会前会長夫人を囲んで
の記念撮影

●主な内容●

◇第15回通常総会開催

◇大阪府・上海市友好交流提携35周年記念寄稿

◇友好交流レポート

◇地区協会NEWS

◇会員消息

第15回通常総会開催

新役員決定、毛丹青氏の記念講演、創立65周年記念祝賀会

5月30日(土)、リーガロイヤルNCBホテルで開催した。谷井昭雄会長の開会の挨拶に続いて、日根野文三理事長、府下15番目の地区協会として今春設立された守口門真日中友好協会の原正和会長からも挨拶があり、谷井会長を議長に議事が進められた。

第1号議案の2014年度事業報告・決算報告・監査報告、第2号議案の2015年度事業計画案・予算案が承認され、第3号議案として2年毎の役員改選で副会長に日根野理事長が新任された。第4号議案で事務局の組織と運営が承認された。

総会の最後に当協会創立65周年に当り、これまで長年に亘り、当協会の運営にご尽力をいただいた方、また昨年大阪で開催された第14回日中友好交流会議では多くの会員の力を得たが、特にお世話になった方に感謝の意を込めて感謝状と記念品を谷井会長よりお渡しした。

総会後の記念講演では作家、神戸国際大学教授、「知日」(中国で発売されている月刊誌)の主筆・毛丹青氏をお招きして「訪日の時代における、中国若者の知の拡散力」と題して、「多数の中国人が訪日して1個人として日本に来て圧倒的に良いイメージを持って持ち帰って拡散されている。立体的に中国を理解することが大切。政治は文化の一つにすぎない、日中友好協会にも、もっと若い人を入れるべき」など

分かり易く楽しくお話をされ、会場を埋めた130名の参加者にも刺激を与えた。

創立65周年記念祝賀会では、谷井会長から秋に大阪府・上海市・江蘇省友好締結35周年でもあり、訪中国を派遣するとの話もあり、孫忠宝副総領事のご挨拶をはじめ、大阪府知事、上海市対友協からの祝辞が代読された。和やかな雰囲気の中、大いに歓談し、盛り上がった。

【感謝状贈呈者】

〈氏名〉 〈所属協会〉 〈大阪府日中役職〉

長年に亘り、協会運営に貢献された方々

中務武志	阪南	副理事長	今回ご退任
川上 和	直属	女性委員長	今回ご退任
八浪暢生	直属	監 事	今回ご退任

昨年の交流会議で特に貢献して頂いた方々

石田哲男	堺	常任理事
木村 勇	直属	理 事
西澤哲昭	高槻	評議員
鴻本久美	直属	評議員
増田華与	直属	
井関敦子	豊中	
楊 舒	豊中	
兼森信子	直属	

残暑お見舞い申し上げます

大阪華僑総会

会長 劉 中 耀
理 監 事 一同

大阪府西区靱本町三丁目九番十八号
電話 (06) 64481054

西日本新華僑華人聯合会

会長 畢 廣 軍

〒541-0051 大阪府中央区備後町二丁目四一六
電話 (06) 62231509

一般社団法人日中経済貿易センター

名誉会長 谷 井 昭 雄
代表理事 村 山 敦 雄
代表理事 青 木 俊 一郎

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町四一三
大阪センタービル2F TEL 06-4704-1251

大阪市労働組合連合会

執行委員長 上 谷 高 正

“麗しい中国—2015年中国シルクロード観光年”
新シルクロード、新観光、新体験

中国国家観光局 大阪駐在事務所

〒556-0017 大阪府浪速区湊町1-4-11
電話 06-6635-1318
FAX 06-6635-1328
O.C.A.T.ビル4F

<http://www.cnta-osaka.jp/>

2015-2017 役員名簿

(順不同、敬称略 ◎印は新任)

〈会 長〉

谷井 昭雄 パナソニック(株)特別顧問

〈副会長〉

林 昭嘉 堺市中名誉会長

青木俊一郎 (一社)日中経済貿易センター代表理事理事長

田中 潤治 豊中市日中会長

梶本 徳彦 元大阪府副知事

戸毛 敏美 関西外国語大学孔子学院参事

倉田 薫 池田市日中会長

山中 卓 枚方市日中会長

柿原 勝彦 高槻市日中会長代行

石田 修 ジャパンパーツサービス(株)代表取締役会長

川崎 雅雄 NPO法人 大阪太極拳協会理事長

黒田 悦治 大阪市労働組合連合会書記長

佐伯 行昭 池田市日中理事

笹井 宏 高槻市日中理事

二宮 信 吹田市日中副会長

◎林 雅清 熊取町日中会長

前田 秀夫

村田 憲彦 連合大阪副事務局長

白本 忠史 堺日中副会長

◎武井 俊成 岸和田市日中会長

谷川 昭 (一財)大阪府教職員互助組合顧問

◎玉置 正雄 (株)グローバルインダストリー代表取締役

辻野 健次 豊中市日中副会長

◎仲 昌男 守口門真日中副会長

西村 誠志 大阪府武術太極拳連盟副理事長

長谷川由子

花谷幸比古 森ノ宮医療学園理事

肌勢 勝彦 (株)ダイドーハント代表取締役

〈副会長・理事長〉

◎日根野文三 日根野公認会計士事務所所長

〈理 事〉

◎青柳 明雄 和歌山大学客員教授

足立 裕亮 学校法人天満学園・太成学院大学理事長・学長

板橋 吉弘 (株)迅達社代表取締役

井上 章 池田市日中理事長

井上 依彦 (株)ヤハタ常務執行役員

石田 秀 (株)イシダ代表取締役社長

伊吹 健

今村 直子

池田 嘉次 八尾市日中副会長

奥野 稔 枚方市日中理事長

尾崎 蒼石 日本篆刻家協会理事長

角高 憲治 松菱運輸(株)取締役社長

木村 勇 (株)コングレ顧問

◎楠本 政幸 大阪府国際交流財団評議員長

◎原 正和 守口門真日中会長

古家 泰三 阪南市日中副会長

彭 飛 京都外国語大学教授

昌尾 一弘 (株)池田泉州ホールディングス常勤監査役

山田 寧 (一社)日中経済貿易センター専務理事・本部長

米澤 隆弘 近畿通関(株)代表取締役社長

〈副理事長〉

堀田 雄一 堺日中副会長

大藪 二郎 (株)日中語学センター代表取締役

清水 正弘 豊中市熊野田校区福祉委員会会長

江原 均 大阪三島日中事務局長

◎藤井 秀幸 大阪府日中事務局長

〈常任理事〉

井内 哲義 堺日中会長

石田 哲男 堺日中副会長

〈監 事〉

阪之上清以弥 堺日中理事

中島 直樹 (株)池田泉州銀行上席調査役

NPO法人
大阪太極拳協会

〒555-0012

大阪府西淀川区御幣島三ー一四ー二四

大阪府西淀川区御幣島三ー一四ー二四
大阪府西淀川区御幣島三ー一四ー二四
電話 (〇六) 六四七八ー三〇〇三

会 長 大 藪 二 郎

NPO法人
大阪太極拳協会

〒555-0012

大阪府西淀川区御幣島三ー一四ー二四

大阪府西淀川区御幣島三ー一四ー二四
大阪府西淀川区御幣島三ー一四ー二四
電話 (〇六) 六四七八ー三〇〇三

理 事 長 川 崎 雅 雄

社団法人
大阪府鍼灸師会

〒530-0037

大阪府北区松ヶ枝町六ー一六
電話 (〇六) 六三五一ー四八〇三

パナソニック株式会社

〒571-8501

大阪府門真市大字門真一〇〇六
電話 〇六・六九〇八・一一一一

西日本貿易株式会社

本社 〒541-0045

大阪府中央区道修町四丁目四一〇

KDX小林道修町ビル八階
電話 (〇六) 六二〇三ー五七三ー(代)

〈評議員〉

中馬 弘毅 大阪ユネスコ協会会長
川上 和 阪神ジェンダー研究ネットワーク世話人
松島 弘子 日本和装学園会長
今西 義人 (福)大阪自興会理事長
東 久継 上海東華針織機械(有)董事長
阿野 寛 八尾市日中副会長
有岡トシエ 熊取町日中事務局長
荒石義一郎 堺日中副会長
石崎 享彦 堺日中理事
伊関 要 関西国際空港産業(株)課長
池田 大常 書法研究 王玄会会長
池本 新一 パナソニック(株)SC社営業本部
上松 成人 日中平和観光(株)大阪支店長代理
遠藤 佳代 日本語教師
岡田 健治 三和化研工業(株)代表取締役
岡田 恭典 本町橋行政書士事務所代表
夏 暁
影山 高子 松原市日中会計監査
蔭山 充 かげやま医院院長
◎樫井 賢一 熊取町日中理事長
川邊 清 五苑マルシン(株)代表取締役
河村 彰介
喜多 忠文 同志社大学客員教授
北垣 弘 ウェスティンホテル大阪代表取締役社長
木村 静子

高貴千雅子
高 建平 (株)EHF代表取締役社長
鴻本 久美 上海で落語の会代表
小西美代子 松原市日中副会長
碁盤 英之 北大阪医療生活協同組合理事長
重藤 悦男 清風学園安全教育部主事代理
住石寿美恵 大阪太極拳協会常務理事
高倉 康一 池田市日中理事
◎高梨 憲春 守口門真日中副会長
竹垣 恵子 大阪芸術大学准教授
田邊 眞裕 高槻市少林寺拳法連盟会長
田端 昭子
辻 紫岳 大阪三島日中文化担当理事
◎寺本 久子 豊中市日中理事
西澤 哲昭 (財)高槻市都市交流協会
萩野 信隆 (株)友好社取締役会長
廣内 裕子 園田学園女子大学准教授
福山 公朗 高槻市日中理事長
藤本 利美 富士波会 書道教師
本郷成保美 (株)トワール貿易部
松田 永茜 大阪府鍼灸師会理事
松本 昌三 UAゼンセン大阪府支部支部長
松本 洋子 豊中市日中理事
宮本 靖彦
森田 洋子 枚方市日中理事
山根 裕治 枚方市日中理事
山本 隆明 枚方市日中理事
楊 京生 国達総合機構理事長
吉川 太三

李 庚 京都造形芸術大学教授
和田 融 吹田市日中副会長

〈相談役〉

もず 唱平 作詞家
竹谷修太郎 大阪府赤十字血液センター嘱託検診医師
吉澤 宏始 元日中経済貿易センター理事長
原田 修 日中なになに塾相談役
武内 孝之 熊取町日中副会長
田中 順治 八尾市日中会長
曾我部篤爾 堺日中顧問
大原 一郎 河内長野市日中会長
◎中務 武志 阪南市日中会長
牛浜 龍男 松原市日中会長
高津 昇 吹田市日中会長
◎美坂 房洋 J国際学院学院長

〈顧問〉

松井 一郎 大阪府知事
竹山 修身 堺市長
信貴 芳則 岸和田市長
浅利敬一郎 豊中市長
小南 修身 池田市長
後藤 圭二 吹田市長
濱田 剛史 高槻市長
竹内 脩 枚方市長
木本 保平 茨木市長
田中 誠太 八尾市長
芝田 啓治 河内長野市長
澤井 宏文 松原市長
森山 一正 摂津市長

自動車部品輸出入
ジャパンパーツサービス(株)
代表取締役会長 石田 浩之
執行役員営業本部長 福岡 浩之
〒541-0053 大阪市中央区本町二丁目三番九号
JPS本町ビルディング七階
TEL 06-6261-9568 FAX 06-6261-9569
E-MAIL: info@jps-osaka.co.jp

烟台汉都金属制造有限公司(山東省)
株式会社 ダイドーハント
代表取締役 肌勢 勝彦
大阪市中央区西心斎橋一丁目一五
アイバンビルディング11F
TEL (06)6271-3475

ロータリージョイント
スィベルジョイント
ローディングアーム
Innovations in Fluid Sealing



http://www.takedaworks.co.jp
大阪府門真市四宮 5-1-1
TEL: 072-882-8833

学校法人天満学園
太成学院大学
太成学院大学高等学校
太成学院天満幼稚園
太成学院大学歯科衛生専門学校
理事長 足立 裕亮
〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾一〇六〇番一
電話 (072)3631-6373
http://www.tgu.ac.jp

株式会社 日中語学センター
中国語を学ぶ大阪中国語学院
日本語を学ぶ日中語学専門学院を運営しています。
学 院 長 青木 俊一郎
代表取締役 大藪 二朗
〒543-0052 大阪府北区天神橋三丁目七十七番五ビル4F
TEL 06-6333-2442 URL http://www.jcdc.jp/

國下 和男 藤井寺市長
 福山 敏博 阪南市長
 中西 誠 熊取町長
 ◎西端 勝樹 守口市長
 ◎園部 一成 門真市長
 森 詳介 (公社)関西経済連合会
 長

佐藤 茂雄 大阪商工会議所会頭
 山崎 弦一 連合大阪会長
 上谷 高正 大阪市労働組合連合会執
 行委員長
 山田幸次郎 西日本貿易(株)名誉会長
 伯井 俊明 (一社)大阪府医師会会長
 堀井 良殷 (公財)関西・大阪21世紀

協会理事長
 辻 裕 大阪卓球協会会長
 石端伸次郎 大阪麻雀連合会理事長
 村山 敦 (一社)日中経済貿易セン
 ター代表理事会長

General Packaging Industry



イノベーションで 包装を超える。

レンゴーは、
 紙・段ボール・紙器・軟包装・重包装・海外の
 6つのコア事業を中心として、
 パッケージングの未来を創造してまいります。

GPI
 ゼネラル・パッケージング・インダストリー
レンゴー

レンゴー株式会社

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー TEL.06-6223-2371
 東京本社 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー TEL.03-6716-7300

中国料理

錦城閣

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町一
 大阪キャッスルホテル3F
 TEL (〇六) 六九四一 二二八五

おかげさまで51年



日中平和観光(株) 大阪支店

〒541-0046 大阪市中央区平野町三丁目四番 四号
 大阪TKビル
 TEL 〇六 六二〇二 〇二四一
<http://www.nitchu.co.jp>
 ☆日中開時刻表プレゼント中 抽選 菊池

ホテルニューオータニ大阪

総支配人 細山雅利

大阪市中央区城見一 四一
 TEL 〇六 六九四一 二二二二 (代)

株式会社 ロイヤルホテル

代表取締役社長 川崎 亨

〒530-0005 大阪市北区中之島五丁目三 六八
 電話 (〇六) 六四四八 一一二二

中国ならANA

関西国際空港から
 6都市へネットワーク

●就航都市

北京・上海・大連・青島
 杭州・香港

ANA

ご予約お問い合わせは

0570-029-333
 (全国一律料金)

大阪府—上海市が友好交流提携35周年

大阪府と上海市の 友好交流締結35周年を迎えて

副会長 梶本 徳彦（元 大阪府副知事）

今年、大阪府と上海市の友好交流が始まって35年を迎える。私は、1999年に大阪府の企画調整部長時代に府上海事務所の移転問題で訪問し、その後副知事として二度友好交流代表団長として公式訪問している。しかし、交流が始まった35年前の事情は知らなかったの、府国際課に依頼して当時の書類を探してもらい、今回その概要をまとめてみた。

1970年代、前進する日中関係

1972年に日中国交正常化が実現し、1978年には日中平和友好条約が締結されるなど1970年代は日中関係が大きく前進した時代であった。この間、1974年には大阪市と上海市の友好交流が開始され、1980年には大阪府と上海市の友好交流が締結された。

これには、岸昌知事の日中関係前進への熱い思いがあったことを忘れてはならない。岸知事は、私が大阪府に採用された1966年には総務部長をされていて、その後初代日本政府沖縄事務所長を務められ、請われて1971年から1975年まで黒田知事の下で副知事をされていた。黒田知事が二期目に自社公民と袂をわかったときに副知事を辞任され、浪人生活を送られた後1979年に知事に就任された。

岸知事は、副知事をされていた4年間に4度にわたり上海を訪問されている。大阪府日中友好の船の団長として394人の団員を率い、大阪府日中友好の翼



大阪「日中の翼」訪中国（団長・岸昌副知事）（1975年7月）

訪中団、大阪府市町村友好代表団団長として、また大阪市と上海市の友好交流締結にも同席されていた。

また、後日1988年に府日中友好協会と上海市人民対外友好協会の共催による故雨宮礼三夫妻墓碑建立式典にも名誉団長として参加され、江沢民上海市市長との朝食会にも臨まれている。

岸知事は、日中相互の理解を深めその関係が前進することがアジアの平和につながることを、そのために大阪府も日中友好に尽力することが、ひいては大阪経済の発展につながることを確信され、知事就任後ただちに友好交流締結に向けて動かれた。



大阪府・上海友好提携5周年記念式典 上海で岸昌知事、江沢民上海市長と会見（1985年11月）

当時、中国は1965年から始まった文化大革命によって社会が大混乱し、経済も停滞、教育も崩壊していた。文革は1976年に収束するが1970年代のはじめには沈静化し、中国は近代化、改革開放に向けて大きく舵をきっていた。1980年の大阪府大型訪中団が上海市、江蘇省、北京市で大歓迎を受け、岸知事が余秋里國務院副総理を表敬訪問した時に、副総理が「我々はコンビナートよりも品質管理、生産管理、経営管理の面において日本が支援してほしい」と述べていることに象徴的に表されているように。

1980年、岸知事を団長とする 大阪府代表団の訪中

1980年の上海市との友好交流はこのような時代背景の下で、岸知事の熱い思いによって実現した。知事就任の一年後、1980年4月10日から20日まで11日間にわたり、知事は、府議会議長、自民党から共産党まで超党派の会派代表や記者とともに中国を訪問する。11日間も理事者と府議会の代表が海外出張す

ることは異例であり、その意気込みが窺い知れる。

上海では大歓迎を受け、王一平副市長が空港まで出迎え、人民政府主催の歓迎宴には3人の副市長、人代副主任、対外友好協会副主任、中日友好協会をはじめ各分野の代表40人が出席した。

会議要録及び議定書によれば、

- ① 大阪府上海市友好交流促進協議会議を設置し、11月に大阪で開催することが決定された。
- ② 嘉定区馬陵人民公社を上海大阪友好人民公社と命名し、大阪府農業技術関係部門との交流を促進することに同意した。そのときの人民公社での命名式の歓迎ぶりの凄さにびっくりしたと参加した議員が述べている。
- ③ 農業技術、工業技術、医学等の研修生の受け入れ。
- ④ 大阪府が上海事務所の設置を提案。常設事務所の設置は外交上の問題があるという上海側の拒絶反応が強かったが、知事が「大阪側の技術援助は中国の近代化に役立つ」と説得し、会議要録に検討すると記載されることになった。

また、西郊公園において、大阪上海友好記念植樹として大阪の木である「いちよう」の植樹式典も行われた。

上海から江蘇省へ

その後、一行は江蘇省を訪問し、ここでも南京駅に副省長が出迎え、歓迎宴に省長自ら出席するなど盛大な歓迎を受けた。

岸知事は帰国後、恵浴宇省長との会談について「江蘇省は上海との対抗意識が強いと省長の態度から感じた」と述べ、江蘇省とも友好提携したいという気持ちを強調したが、後は、中国の方針に任さざるを得ない。しかし、友好提携という形はとらなくても実質的に各分野での交流を促進することを双方が確認した。

国務院副総理を表敬訪問、 孫平化氏との会談

その後、北京でも当時中日友好協会副会長であった孫平化氏の空港への出迎え、余秋里国務院副総理への表敬、北京市人民政府白介夫副市長への表敬など破格の歓迎を受けた。

知事は帰国後、なぜ江蘇省との友好締結が実現しなかったのかという事情について、孫平化氏との長時間にわたる会談において聞いた話を記している。

孫平化副会長によれば、当時、中国では友好都市提携について総括中であったが、だいたいの結論が出た。それは、5つの原則である。

つまり、①合理的であること。省政府所在都市と県庁所在都市がまず締結して、その上で省と府県が友好交流締結すべきである。江蘇省の場合は、すでに南京市と名古屋市が友好都市であるから、日本側は愛知県の方が良い。上海市はすでに大阪市と友好都市であるが上海市は省と同格だから大阪府は上海市と友好交流締結をする方が良い。そうしてもらいたいという中国側の結論から決まった。

②形式より実質を。③細く長く。④恋愛期間を長く。双方が十分に理解してから。⑤蘇州のように日本の8都市というような一つの都市への集中は困る。というものであった。

4月の約束どおり、1980年11月15日から22日まで8日間にわたり、韓哲一副市長を団長とする上海市人民政府代表団が来阪した。17日に第1回友好交流促進協議会が開かれ、府からは岸知事はじめ3副知事など関係者が出席した。

21日には4月の議定書の趣旨に基づき、岸知事と韓哲一副市長の間で友好提携（日本国大阪府と中華人民共和国上海市との友好府市関係の樹立に関する議定書）が調印された。都府県レベルでの友好交流締結は、1979年の東京都と北京市、1980年の愛知県と江蘇省に次いで3番目である。

会談要録では、詳細は省くが、経済・貿易、商工業の経営管理と技術、農業、医学、文化・教育、青少年、スポーツ、都市行政の各分野で交流を進めることが合意された。

なお、上海市に府の常設事務所を設置する問題については引き続き検討することとされ、実際に開設できたのは5年後の1985年である。

その後も続く友好交流

その後、大阪府と上海市及び江蘇省との間では途切れることなく双方の幹部が交互に訪問し、様々な交流活動を重ねながら35年を迎える。

当協会元理事長 雨宮礼三氏の生誕100周年を迎えます



雨宮礼三氏の思い出

伊吹 健

暑い日ざしの夏も、年中ハンティング帽に黒いショルダーバッグ、帰りにはデパートのポリ袋をぶらさげて帰宅する好々爺でした。

当時の日中の組織は、本当に幅広いものでした。中国内では文化大革命が起こり、紅衛兵の天下でした。交流は絶え、中国の貨物船が入港した折に埠頭に季節の果物を携えて訪れる訪船交流が唯一でした。「人民中国」「中国画報」などが新しい情報源でした。冷たい風の中でも、雨宮さんは日中の旗を振っておられました。事務局では夜遅くまで機関紙に白帯に糊付けするなど、発送の手伝いをしてくれました。

「大躍進」のスローガンとは裏腹に、中国内では食糧不足に苦しんでいた当時のこと。中国中央歌舞団公演の折の昼食に、経済的にゆとりのない日中としてはレストランで“チキンステーキ”を提供したのですが、皿に盛ったライスのお代わりに応じてもらえず、全員が鶏の太腿の骨をばりばりと噛み砕いて食べ始めたのを見て涙ぐんでおられた光景を目撃して、そのやさしさとくやしい思いに感動しました。

大阪に国費留学生が初めて派遣されたときには、お正月に自宅に招待され、日本の家庭生活や風俗習慣をご夫婦でやさしく説明されていました。私はそのとき初めて奥さんも働いておられ、帰宅の際にデパート地下売場の総菜の袋をぶらさげて帰る事情を知りました。

囲碁が趣味で、日本棋院、関西棋院などと中国との交流にも努められました。

年末には、ボーナスも払えない日中事務局の職員のため「せめて若い人に正月の餅代ぐらいは」と、冷たい師走の風の中を駆けめぐる、思いやりのある温かい人でした。

雨宮礼三理事長 協会活動37年に思う

大藪 二郎

雨宮礼三理事長は、1950年の大阪日中の設立準備から、日中国交正常化を求める諸活動、紅十字会代表団の歓迎、中国語、友好講座など中国を知らせる活動、国交正常化後は、万博跡地での中国展、大阪市、府と上海市との友好都市提携と交流、太極拳の普及など多彩な活動さらに本部の活動と全生活をかけ尽力しました。雨宮礼三理事長は、1967年に理事長に就任し87年に亡くなりましたが、その協会活動37年は、山あり谷ありの日々でした。晩年は日中交流が「もっとも豊かに発展した時期」で、長い苦労が報われたとの思いを持ったと思います。しかしながら、その後28年の日中の歴史は、再び山あり谷ありをたどっています。日中友好は任重くして道遠しの感があります。

わたしは、1964年に大学に入るなり入会し、そして、協会に務めるようになったのが、1970年ごろからですから、そのとき以来でも雨宮理事長とは17年ぐらい、仕事をしたことになります。私と雨宮理事長とは、28ぐらい離れているので、親子ぐらいの開きがありました。今年わたしは72歳になりますが、雨宮理事長は72歳でこの世を去りました。

かつてわたしも雨宮礼三理事長とともに本部の初代理事長の内山完造夫妻墓に参ったことがありました。上海市人民対外友好協会と《会談要録》の調印のために、年末上海を2人で訪問しました。その年は翌年堺市と連雲港市が友好都市提携することになったので、連雲港市に訪問する日でありました。わたしは墓で調子が悪くなり吐いたのです。そのあと病院にいったところ、すぐに盲腸で、手術ということになりました。今雨宮礼三理事長夫妻は、上海市人民対外友好協会の協力の内山完造夫妻墓の隣に眠っています。

生誕100年の今年、有志の皆さんから追悼文集「心相印」復刻の声が上がりその準備を進めています。11月の協会訪中国の上海訪問の折には、みんなで陵園に詣でたいと思っています。皆さんのご協力をお願いします。

南京訪問レポート

日中協力南京城壁修復20周年記念事業に参加して

中国人民の心に触れた旅

団長 戸毛 敏美

何年ぶりにやや浦島太郎の気持ちで訪中しました。城壁修復20周年記念行事ですが、私達は「歴史認識の事は13億中国人民の心・気持ち・思いに関わる」という習近平主席の意味を深く理解するため、こんなにも素敵なメンバーと共に旅ができた事を大変嬉しく思いました。

南京記念館見学も、夏淑琴さんにお会いし直接気持ちを聞くことが出来ました。見学の途中で多くの市民・学生とお話ができ多くの事を考えさせられました。



記念館にて夏淑琴さんを囲んで

まず夏淑琴さんからは、右翼に負けることなく闘った事を学ぼう、そして「なにが悲しいかと言えば、多くの日本人が南京大虐殺など侵略の歴史、近代史をご存じないこと。私達は忘れたいけれど、忘れられないのですが、日本の人々も良く知って二度と繰り返すことのないようにしましょう」とおっしゃった事、私達には老骨に鞭打ってでも、この歴史を若者に言い伝える義務がある事を実感しました。

記念館では、私達が日本人と分かれると「贖罪の為に来ているのだろうか」と話しているので、すぐ「どちらから？ 何故見学に来たの？」と質問し、「私達

は大阪府日中友好協会の団で、習近平主席の述べた中国人の心・気持ち・思いを知るために来たのよ」と言いました。多くの人々からは「人民は仲良くしましょうね」と励まされ、逆に「日本人はどう思いますか？」とよく質問されました。休憩室で隣に座った江西省革命根拠地からこられた老人は、日本から来たと紹介しても、終始にこにこ顔で、私の「今回南京記念館見学の目的は」の質問に、「日本軍は南昌までは来たが、わが故郷はもっと田舎なので直接被害を受けなかった。しかし、息子、嫁、孫達が賛沢を言うので、私達今の幸せな暮らしは決して容易に得られたのではない、革命根拠地から多くの若者が二万五千里長征で抗日戦争に加わり、勝利し得られた事を知らせるために来たのだ」とのこと。そして「戦争は人間を鬼に変えてしまうのだから、今後どんな事があっても絶対戦争をさせてはならない」といわれました。

また河北省からきた30代の女性グループは、自家製のきゅうりを差出して「日本からよく来てくれました。戦争は本当に悲惨です。二度と無いようにね！ 人民同志はいつまでも仲良くしましょうね」と励ましてくれました。

中学生グループは「勉強のため来たのです。日本人がこの展覧会を見てどう感じますか」と質問され、私の考えを述べた所、「賛成よ、このような悲惨な戦争を絶対してはいけないと思います」との回答がありました。

別紙の通り、帰りの飛行便が大幅に遅れたのですが、機内で沈広艶さんと交わした会話はとても有益でしたので、ご要望に応じ纏めてみました。ぜひご参考にご一読ください。

婦女連合会との交流、特に幼稚園での交流も良かったですね。中国は急速な高齢化社会到来を目の当たりにし、また一人っ子政策で「小皇帝」甘やかされた育つ子供たちの教育で今後女性間の交流を一層深めるテーマが与えられました。今後も大いに実りある友好交流を目指しましょう。

南京の一市民の声

団長 戸毛 敏美

5月16日予定通り成都から飛行機が南京に到着。喜んで搭乗したが上海の天候不良？とかで少々待たされましたが、大変良い経験をしました。

前の座席に掛けていた女性に「日本は初めて？」と声をかけたのがきっかけで話がはずみ、関空に到着するまで有益なお話をたくさん聞きました。

この女性は沈広艶さん、何代も南京に住んでいるもとは良家のお嬢様。先ず私が今回南京に来た目的、交流した状況を簡単に説明すると「ありがとう」と返事が返ってきました。そこで日本がかつてあんなに残虐な事をした日本に、高い旅費を使って行く理由が知りたくなり質問すると、工場で働いており、45歳で定年退職し、60歳とのこと。月に年金（中国では「退職金」という）約3,000から3,500元貰い、月に1,000元もあれば十分生活できるので、余ったお金で中国の名所旧跡は殆ど回り、今回初めて国外へ行くとのこと。22名のグループで同じコミュニティーの友人や元働いていた工場の同僚とその家族、中には両親や子供も同行とのこと。日本を選んだのは近いし安全できれいと言いたから。

今まで私は日本に来る人々はみな裕福な家庭の人と思っていたが、一般庶民が来日と聞いて驚きました。そこで身の上話をしたいので、先ず私の身の上話を簡単にしたところ、彼女がすっかり打ち解けはじめて、彼女の生い立ち等を語り始めました。

南京大虐殺の時、貴方の家では被害をうけたの？と聞くと、沈さんは「祖父が商売をしており、大資産家で香港に店をもち、住んでいたのもので、戦争が始まると母は二人の兄をつれて香港に移り住んだので、わが家は被害を全然うけませんでした。でも戦後南京に戻ると家は爆撃で破壊されていたので、母の話では、当初キリスト教会の礼拝堂を間仕切りした所で住み、祖父が資金を出して家を再建して元の所へ戻る事ができ、私がその後生まれたそうです」「日本軍の直接被害は受けませんでした。文化大革命で酷い目に遭い、言葉では言い尽くせない苦勞をしたのよ」と。沈さんは「14歳（中学生）から十年間

『下放』され、農村でずっと働き勉強ができず、24歳になってやっと南京に戻りましたが、大学には行けずでした。祖父は文化大革命で批判され財産は没収、二人の兄は大学卒でしたが、つるし上げられ大変でした。でも後に上の兄は医者として大学教授になり、下の兄は建築家としてやはり大学教授となり、今は年金暮らしで幸せです」。

そしてネックレスを見せてくれました。それは足の甲の所に蜘蛛が彫刻されている玉石で作られた物がついているネックレスで、腕にも玉石のリングをはめており、中国では邪気を払うことが出来る、転んでも怪我をしない、というご利益があるそうです。何故気持ちが悪い蜘蛛が彫刻されているのか興味がわき、質問すると「中国には諺があり“知足者常楽”“知足”は“蜘蛛”と同じ発音、そして『いつも足を知る事は、常に楽しい心地にさせる』他人と比較して収入の少ないのを不満に思うより、一定の収入で満足を感じれば、人間は常に幸せという意味」「文化大革命で悲しい思いをしたが、戦争の無い平和な社会が続き、国も発展したので、今は最高に幸せです。日本とは二度と戦争をしないようにしましょうね！」と言われました。

大虐殺をした日本について、今どうお考えですか？との質問には「戦後すぐの頃は抵抗感がありましたが、改革開放で日本企業が沢山南京に進出して、私達が直接日本人民に接触する機会が増えるにつれ、日本人へのイメージがどんどん変わりました。過去は過去で、過ぎ去らせましょう。今では私達のコミュニティーでも二人の女性が皆に祝福されて、日本人男性のもとに嫁ぎました」とのこと。

私も教え子が沢山中国の男性や女性と結婚している例を紹介し、「反日デモ」で騒がれていたのに、国慶節の貴重な休暇を利用して二家族が私の所に遊びに来た事を紹介すると「いいことよね！若者たちがグローバル化し、国や民族にこだわらず生涯を共にすることは」。

最後にお別れの際は固く握手を交わし、「一路平安！」「旅途愉快！」と数人の団員と挨拶を交わしました。それを見ていた沈さんのグループの皆がもう仲良い友人になったのと喜んでくれました。

飛んできませんでした、飛礫

和田 融（吹田市日中副会長）

南京に行くのか？ 大丈夫か？ 5月15日に出発し18日に帰国する「南京城壁保存修理協力事業20周年記念」行事に参加することを聞いて友人が思わず口にした言葉です。軍国主義日本の軍人が暴虐の限りを行い、30万人の命を奪ったとされる悲劇の城市を知っているの危惧からでしょう。内心、反日感情の強い処という観念が隅に残っていた私も、日本人と判れば飛礫の飛来とはゆかずとも非難の言葉の一つぐらいはと、今からすれば過剰な意識をぬぐえずに、最初の宿泊先、双門楼賓館に一行と共にチェックインしました。

“霧消した出発前の懸念”

孫権の呉、東晋、宋、齊、梁、陳と六朝が370年間この地、建業（南京）に興亡したのは、紫金山、雨花台、清涼山に囲まれ長江に守られた要害の地であったことに加え、運気に満ちた地勢が理由といわれます。

移動バスの車窓からという狭い視野でも、一面に緑濃い城内の湿り気が心地よく映ります。道行く人から漂う穏やかな雰囲気「大人」を感じさせられているうち、バスは今回の主な訪問先「侵華日軍南京大屠殺遭難同胞記念館」に到着しました。一同は代表者と並び、謹んで哀悼の意を表し献花を供えました。記念館参観では多くの展示品を目の当たりにして、理性不在となる戦争の悲惨さが伝わりました。正視を憚る場面では、これを反面教師にと自戒しました。今年で戦後70年、平和を保ち不戦を守ってきた日本は、平和の先進国として、不戦を実行継続する責務あるのみと心に刻みました。



記念館出口のボードには“前事不忘、後事之師”の大書がありますが、記念館内では日本国、日本人を非難した文言は不在でした。小さな緊張感を身にまとして南京に入った自分を、慙愧の念が覆いました。古都南京の濃緑のポプラ並木トンネルは、鶯の声こそ連れ添ってきませんが、濃い緑樹が傷心を癒してくれました。

南京を後にした訪問団は、徐州、上海と300キロ以上を高速列車で訪問を重ね、5月18日に無事関西空港に帰着しました。

小さなカルチャーショックを受けた私は、帰国後1ヶ月も待てずに南京を再訪しました。双門楼賓館の隣に宿泊し、時間を掛けて古都の風雅を味わいました。獅子山閱江樓の回廊では、一人で横笛を吹く粹人に出会うなど仙境の世界を訪ねたようでした。公共汽車（タクシー）、地下鉄、ホテル、レストランなどではすべて没有問題！の再訪南京でした。6月の再訪は、5月に受けたフラストレーションを消化してくれて余りあるものでした。古都南京に秘められた運気は、もう次の訪問を誘っている気配です。



獅子山閱江樓の回廊で横笛を吹く粹人

日根野公認会計士事務所

公認会計士 日根野 文 三
税 理 士

大阪市中央区南新町2-3-7 塚本ビル7階

TEL (06) 6942-1888

FAX (06) 6942-3177

<http://www.hineno-ao.com>



第17回 日中友好親善ゴルフコンペ

5月21日、第17回日中親善ゴルフコンペが枚方市日中友好協会のお世話により枚方カントリー倶楽部で開催されました。

今回は総領事館の方々は所要のため参加できませんでしたが、総勢20名で行われました。

プレー後は懇親会が行われ、和やかに親睦を深めました。



枚方カントリー倶楽部にてプレー前の記念撮影

楊州市経済技術開発区訪日団来阪

楊州市経済技術開発区管理委員会の張連生副主任、武雲日韓局長の2名の訪問団が、5月28日に大阪で「日本健康産業園」投資説明会を開催するため来日されました。

お2人から大阪の製造業の工場を見学したいとの強い要望があり、豊中市にあるパナソニック溶接システム(株)に案内しました。冒頭、高橋学社長から歓迎の挨拶を受けて、溶接機、ロボット、レーザー加工機などの製造ラインとテクニカルセンターを見学しました。中国の唐山市には、1994年に唐山松下産業機器有限公司が設立され、中国における溶接機器のトップメーカーとして事業を推進しています。当日は唐山有限公司からの3名の研修生とも交流ができた、大変喜んでいただきました。(清水正弘)



楊州市からの経済技術交流団と工場見学

中国青年経営者視察交流研修訪日団の受入れ

中国の深圳、中山、珠海、香港などから青年経営者一行15名が来阪し、7月7日午前中にはパナソニック創業者の松下幸之助記念館を訪問し、経営理念などを学んだ。参観後には様々な質問があり、熱心な質疑応答となった。

昼食会では日中経済貿易センターの青木理事長からの講演があり、大阪商工会議所はじめ関係者との懇談となり、有意義な時間を過ごし、大阪を後にした。



松下幸之助記念館にて



昼食会後の記念撮影

日中友好大学生訪中団 当協会推薦の大学生の報告会を開催

日本全国から91名の大学生が5月14日～20日にかけて訪中し、南京城壁修復20周年行事、南京と蘇州での大学訪問・交流、蘇州、上海、北京視察を行ない無事に7日間の日程を終えた。

7月5日午後3時から大阪府日中推薦で訪中した大学生21名の内、12名が参加して報告会を龍谷大学梅田キャンパスをお借りして開催した。

参加した学生から訪中での感想や質問を全員話してもらい、当協会から出席した谷井会長、青木副会長、戸毛副会長、青柳理事、龍谷大学の金子教授から学生の話を受ける形での話をされ、また当協会の



訪中した大学生と報告会后に記念撮影

活動等についての説明をした。

訪中した学生からも今回のような勉強会や催し物には関心がある、お手伝いもしたい、との声があった。

『文化茶話会』 & 映画試写会を開催

～～ちょっとティータイムしませんか？～～



6月20日 見本重宏氏



7月18日 大藪二郎氏



7月18日 第2部試写会

6月20日には関西日中平和友好会の見本重宏会長を講師にお招きして「私の戦後70年と日中友好について」という題で、熱い想いのお話を話して頂きました。

7月18日には第1部として当協会副理事長・大藪二郎氏を講師として「戦後70年と大阪府日中創立65周年の歴史—元理事長・雨宮礼三氏について」という題でお話をいただきました。雨宮礼三氏は1967年から逝去された1987年まで20年間、当協会の理事長として日中友好に多大な貢献をされ、今年生誕100周年を迎えるにあたり、11月4日に上海で上海対友協とともに記念行事を開催します。

引き続き第2部として実話を基にした映画「ソ満国境 15歳の夏」の試写会を行い、感銘を与えました。

今後の『文化茶話会』のご案内

場所：大阪スカウト会館3F

日時：9月26日(土) 14:00～16:00

講師：武内 孝之氏

熊取町日中友好協会 前会長

演題：「万葉集のなかの異国—万葉仮名の成り立ち、
仏教伝来、道教の影響—」

日時：11月28日(土) 14:00～16:00

講師：坂和 章平氏

弁護士、ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る！SHOW-HEI シネマルームシリーズなど映画評論家としても活躍、北京電影学院で学院賞(坂和章平賞)発足、審査委員会主席に

演題：「坂和的中国電影論と日中交流の楽しみ方」

大阪府・上海市友好交流提携35周年記念 大阪府日中友好協会訪中団を募集します

11月3日～7日 上海・南京・蘇州を訪問・交流

●旅行費用概算 148,000円 (夕食代だけは不確定で含まず)

ぜひ多数のご参加を

*詳細は同封チラシにて

第7回中秋明月祭に今秋も参画

ぜひ多数のご参加を！

中秋明月祭 大阪 2015
友好・共生

10月10日 ± 11日
雨天決行 10:00 ~ 19:00 10:00 ~ 18:00

- 広東料理の実演・美登販売
- 歌・舞踊・雑技
- OSK華麗な舞踊
- 中国クイズ ● 日本クイズ

開催場所：大阪府立中央図書館
(大阪市東区南船場4丁目)

中秋明月祭 大阪 2015 実行委員会

〒545-0051 大阪市東区南船場4丁目 西日本新聞ビル5F 西日本新聞ビル5F 西日本新聞ビル5F
TEL: 06-6649-1055 FAX: 06-6649-1055 HP: <http://www.moon-osaka.org/>
E-mail: info2015@moon-osaka.org

協賛団体 (前不同)

大阪華僑社会・神戸華僑社会・京都華僑社会・西日本新聞華人聯合会事務局
一般社団法人西日本中国友好協会・西日本地区中国留学生学友会
NPO法人大阪府日中友好協会・一般社団法人日中経済貿易センター
一般社団法人大阪府日中友好協会
共 催 中華人民共和國駐大阪総領事館・大阪市

2015年 中秋明月晩餐会の ご案内

主催：日本関西在職中国人
交流協会

共催：NPO法人大阪府日中友
好協会

関西在職中国人交流協会の皆
さんと「2015年中秋明月晩餐会」
を下記の通り開催します。関西
在住の若い中国人が多数参加さ
れます。

楽しく共に中秋の明月を仰ぎ
見ながら交流をしませんか。

日時：9月27日(日)
18:30～20:30
(受付：17:00～、雨天決行)

場所：楓林閣
TEL：06-6649-1055
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-31
(JR地下鉄天王寺駅徒歩1分 アポロビル9F)

会費：3,500円
(食べ放題、飲み放題)

定員：300名

申込：9月25日午前11:00まで
に大阪府日中事務局へ
ご連絡を

世区協会 NEWS

枚方市日中

淀川の船旅と 桜を楽しみました

江戸時代、淀川三十石船の中継地として栄えた枚方。淀川の歴史についての解説や、「三十石船歌」を聞きながら、当時の舟運に思いをはせ、季節感あふれる船旅を楽しみました。

4月4日(土)、枚方宿「鍵屋資料館」を見学後、枚方船着場(淀川河川公園)にて屋形船に乗船、毛馬閘門～大川～八軒家船着場。屋形船を借り切り、45名参加(会員、家族、友人、知人など)。



総会を終え、新しい年度の船出!!

4月30日、府日中戸毛副会長、竹内脩枚方市長を迎え、枚方市民会館で本年度の総会を開催した。2014年度活動報告、決算報告が承認され、2015年度事業方針、予算案の審議が行われ、賛成多数で承認された。

◎2015年度の主な事業計画

- ①大阪府日中友好協会創立65周年記念事業に積極的に協力する。
- ②「淀川の舟下り」で会員相互の親睦を深める。
- ③第16回ひらかた多文化フェスティバルに参加(舞台出演・模擬店出店)する。
- ④関西外大孔子学院との交流事業「中秋節月見交流会」はじめ、市内の大学に在籍する中国の留学生との交流を深める。
- ⑤第39次訪中団を派遣すべく、取組みを進める。

- ⑥平和・友好を促進すべく研修会、学習会を実施する。
- ⑦中国からの帰国者と交流する事業を促進する。
- ⑧会員有志による親睦ゴルフコンペに続き、他の親睦クラブ、仲間の会の結成に努める。
- ⑨中国語を学ぶ会の「中国の家庭料理を楽しむ会」に協賛する。
- ⑩会員獲得運動を展開し、協会の活性化に努める。
- ⑪中国語を学ぶ会などの諸団体やサークルとの交流を深めて、枚方市民が直接肌で接し得る友好親善事業を企画したり、協賛・参加する。
- ⑫中国友好訪日団の歓迎事業等、参加・実施する。
- ⑬その他協会の趣旨に沿う事業を企画、実施する。

◎総会終了後会員懇親会が開催され、食事を共にし、過去を振り返り、またこれから先の協会のあり方など当面の予定

- ・6月28日(日)、7月5日(日) 関西外大・中国の留学生を本協会会員の家庭に招待、交流。
- ・9月26日(土)「中秋節月見交流会」関西外大孔子学院との共催
- ・10月3日(土) 第16回ひらかた多文化フェスティバル 岡東中央公園

(理事長・奥野 稔)

高槻市日中

第34回定期総会を開催

役員改選で 若手理事5人を選任

例年4月初旬の青年部主催「花見の会」は、天候不良のため中止になった。

6月13日(土)には、第34回定期総会を高槻現代劇場にて開催。

第1部総会では、2014年度事業報告並びに収支決算報告、2015年度事業計画案は並びに収支予算案につき審議の結果、何れも質問や意見もなく拍手で原案通り承認された。ただし、中秋明月祭への参加については、費用対効果の面から再検討の上決めることになった。



高槻市日中 第34回定期総会

今年は役員の任期満了に伴い、会長以下副会長、理事、監事の改選を行った。福山理事長は退任・新任候補者案名簿を読み上げ了承を求めたが、出席者からは異議なく原案通り承認された。

異動があったのは、副会長：清水怜一氏の退任に代わって奥野敦史氏が、理事では4人の退任に伴い新しく小関房子・森本多恵子・趙海龍・韓芳・呂正亥氏（日本人2人、中国人3人）5人の若手理事の就任が決まった。また監事には、吉川敏夫氏の後任に元理事：野本秀行氏を選任した。議案審議後、理事長から昨年9月大阪で開催した日中友好交流会議の実行委員を務めた当協会会員：西澤氏に府日中から感謝状が授与されたことと、同会員の岩本氏が、中国で長年調査した「メンドウ」の報告書が、この度本国で出版されることが「日本と中国」6月号で大きく取り上げられた記事を紹介した。

第2部講演会では、今回理事に推挙、選任された中国人の3人が「日本に暮らして思うこと」と題して発表した。異口同音だったことは、言葉と文化の壁に苦労したが、交流を重ねるうちに理解し共感を覚えるようになった。中国人の若者は日本のことを知りたがり、相対的によく観察しているのに、日本の若者は中国の実情を余り知らないし関心が薄いので、知る努力をして欲しいと。

第3部懇親会は、会場をレストラン錦松鶴に移して6時から、中国総領事館副領事：馮帆氏と同領事アタッシュ：朱彤氏、府日中理事長：日根野文三氏、高槻市議会議長：灰垣和美氏を迎えて開宴した。馮副領事は挨拶で「これからは日中関係はよくなると確信している。領事館としても鋭意推進していきたい」と語った。和やかに大いに弾んだ懇親会も定刻の7時半には、理事長がお礼を述べ、この1年間の協力と支援をお願いして閉宴した。（理事・笹井 宏）

岸和田市日中

市民フェスティバルに ポップコーンの販売で 参加



岸和田市民フェスティバルに出店参加

第38回の市民フェスティバルが5月3日（日）中央公園で開催された。岸和田ではだんじり祭りに次ぐ大きな催しで当協会も例年模擬店で参加、今年はポップコーン販売での参加となった。ポップコーンでの参加は初めてのこともあり不安があったのですが、機械を貸していただいた知り合いの施設で事前と当日の指導をうけ、施設の2人の職員に最後まで協力頂き助かりました。ポップコーンは子どもに人気があり、あまり途切れることなく皆さんの協力で15時まで販売をして、多くの市民の方々との交流ができました。

泉州地区日中友好協会交流親睦会が5月9日（土）熊取町日中の担当で泉佐野の犬鳴山で30数名が参加して開催され、岸和田から7名が参加しました。当日天候は少し悪く行者の滝まで滑らないように気をつけながら散策しました。親睦交流の中心となる昼食会で役員さんとは顔を合わせることも多いですが、一般会員同士は機会があまりないのでこのような行事は協会同士が分かり合え、進みあえるには大事と思われるのでこれからも継続してゆきたい。

5月24日（日）第29回定期総会を午後1時30分より野田町会館で開催、来賓の信貴芳則市長、桐原喜彦国際親善協会会長に祝辞を頂きました。議事に入り2014年度活動報告、事業報告、会計報告があり、会計監査役から監査報告があり、それぞれ承認。そのうち2015年度活動方針案、事業計画案、予算案が提

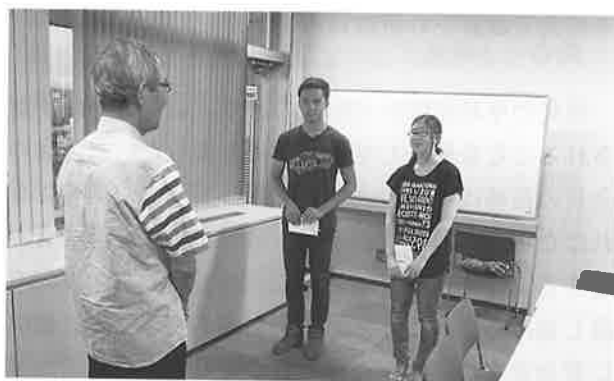
案されこちらも承認可決、今年も近隣地域の中国の人との友好交流を深めてゆく予定です。

2部の懇親会では総領事館の馮帆副領事、府日中の藤井秀幸事務局長より祝辞を頂き、二胡の片山芳子氏の演奏を聴きながら楽しいひと時を過ごしました。

交流サロンパート1 8月6日(木) 14時～
 テーマ「冷茶を楽しむ」 講師：中賀祐子氏
 中国音楽の夕べ 11月7日(土) 14時～
 自泉会館ホール 出演者交渉中
 (会長・武井俊成)

八尾市日中

国際青少年友好 サマーキャンプに 本市高校生2名が参加



派遣高校生を激励する田中会長

上海市嘉定区において開催された「国際青少年友好サマーキャンプ(8/4～8/10)」に本市より、公募によって選ばれた、樋口稚菜さん、森本クリストファー亜蓮さんの2名の高校生が参加されました。

同サマーキャンプは、青少年が文化、地域生活、スポーツなどを体験し、異文化に触れ、英語で交流することで、相互理解と友好を深め、国際感覚を養う事を目的として開催されるもので、嘉定区をはじめとして、日本、ニュージーランド、大韓民国、ドイツ、ハンガリー、セルビア共和国など各国の友好都市から多くの若者が参加され、交流を深められました。

出発に先立ち、7月14日に八尾市役所で開催された、派遣高校生の保護者説明会では、田中会長も出席され、今回のサマーキャンプ参加に向けての期待の言葉と共に、記念品を手渡し、参加者のお二人を激励されました。

また、6月17日、平成27年度定時総会を西武百貨店八尾店パンケットルームに於いて開催いたしました。

総会では、八尾市の友好都市である上海市嘉定区との交流事業を中心とした活動により、日中両国の友好の増進を図っていくことが確認されました。

総会に引き続き、同百貨店内にある「ちゅうか彩園」に於いて懇親会を開催し、大阪府日中の日根野理事長、谷沢八尾市議会副議長、山本八尾市副市長をはじめ多数のご来賓の方々にご出席いただき、終始和やかな雰囲気の中有意義な交流がおこなわれました。

(事務局)

阪南市日中

呉中区交流団来訪、中国語 ボランティア組織化、中秋節 ——秋の行事つぎつぎと



前号では間に合いませんでしたが、4月の呉中区桜花林訪問のスナップです

第25回定期総会は5月23日に、池田泉州銀行淡輪寮で開催。議案どおり承認された後、記念講演として梶本徳彦府日中副会長(元大阪府副知事)に「大阪府と上海市友好交流35周年を迎えて」の題でお話いただきました。大阪府との提携には当時の岸昌知事の熱意と尽力によるところが大きかったと話されたのが印象的でした。なお、梶本副会長には同内容で本誌今号に寄稿いただいていますので参照ください(6ページ)。

中国総領事館から馮帆領事と朱彤アタッシェの女性お二人を迎えて懇親会。いつもながらの和やかな集いになりました。

4月に久しぶりに訪問した蘇州市呉中区から、旧知の周曉敏副区長を団長とする6名の友好交流団が

この秋に阪南市を訪れるとの連絡がありました。従来はこんな場合は大阪府日中会長名の招聘状を出してもらっていたのですが、今回は市にお願いして福山市長名での招聘状を発行してもらえました。行政との協力という意味で一つの収穫だったと思います。詳しいスケジュールはこれから詰めることになります。

岩井副会長の提案で「中国語ボランティア」の組織化に取組み始めました。日常生活や学習などで困っている中国人、観光などで来訪した中国人のための市民ボランティアです。会員や知人の中国人、日本人の会話レベル、活動条件などを記載したリストをつくり、行政側にも活用してもらおうというものです。地域に密着した地区協会としての意義ある仕事にしたいものです。

泉州ブロックの持ち回りイベント第一弾が、熊取町日中主催で5月9日に行われた「犬鳴山散策と懇談」、そして7月12日には「熊取町日中20周年記念式典と講演会」。当協会からはそれぞれ8名が参加しました。

9月27日は恒例の中秋節の会。今年はサラダホール和室で開催し、目玉は「初めての俳句」。宗匠は坪内稔典門下の俳人で、熊取町日中理事長の樫井賢一さん。さてどんな名作、迷作が生まれますやら。

(会長・中務武志)

豊中市日中

会員の入退会が 激しいですが――



第18回定期総会・新入会員歓迎懇親会

豊中市日中友好協会第18回定期総会及び新入会員歓迎会が中国領事館 馮帆副領事、朱彤領事アタッシュのご両名様、大阪府日中から副理事長・大藪二

朗、理事・玉置正雄、岸和田日中会長・武井俊成、守口門真日中事務局長・大坪勤の各位を始めとして多くのご来賓を迎えて6月6日ホテルアイボリーにて開催いたしました。

総会では2014年度の事業報告と収支決算及び2015年度事業計画案及び予算案について一括審議、全員の承認を得ました。本年度の総会では新入会員全員の出席があり、例年にはない雰囲気の中で議論が前向きに行われました。また本年度ご入会の会員各位が自己紹介を行い日中友好への熱い想いを語り、会員間の相互の理解が深まりました。

なお4月より就任される新役員については、1月23日に開催されました理事会での議論を踏まえ、可能な限り新会員を推薦し就任して頂けるように最善を尽くした結果、多くの新会員が役員就任を承諾、本総会で認証され新役員人事が確定しました。

役員の平均年齢が大幅に若返り、より活発に活動されることを期待して総会を終えました。当協会の会員の推移は下記の通りですが事業活動が活発になればなるほど新会員が増え、活動が減ると退会者が増えるようです。より活発に行動し真の日中友好を成し遂げるにはより多くの資金が必要となり、如何に資金を集めるかが今後の日中友好協会の重要な課題である事を痛切に感じています。

会員の推移

2012年度	在籍者	41名		
2013年度	退会者	11名	入会者	6名
2014年度	退会者	0名	入会者	10名
2015年度	退会者	4名	入会者	13名
残存在籍会員数	26名	入会者合計	29名	
		現在会員総数	55名	

退会者を出さないようにするためにも、常に意味のある事業活動を立案し、会員の参加を促し全員で行動することが大切であると実感しています。総会後の新入会員歓迎会ではご来賓の各位から祝辞や激励のお言葉をいただき、会員一同心を一つにして、日中の民間交流をより活発に行い日中相互の理解に貢献出来ることを祈念し、和やかにまた楽しく歓迎会の幕を閉じました。

(会長・田中潤治)

河内長野市日中

第25回市日中友好協会
定時総会を終えて

如来会館2階で行なった総会の様子

当協会は7月18日(土)第27回通常総会を滞りなく終えました。

総会参加者は個人会員12名、家族会員3名の計15名、欠席者の委任状が5通でした。司会は今年度新たに会員登録をしていただいた王宏さんが快く引き受けてくれて、心地よい中国語と元気いっぱいの日本語で、芝田市長をはじめ4名のご来賓を紹介していただき会場を沸かしてくれました。

今年は戦後70年という節目の年となります。当協会は、日中草の根交流で新たな友好促進に努めたいという想いで今年度から協会事務局を『アジア文化芸術連盟』所有の如来会館(〒586-51 河内長野市末広町2-37)に移しました。そして、その会館にて3名の中国朋友会員による中国語講座や中国家庭料理教室等を開設し、地元地域の方々との交流を深めたいと考えております。

また、地元で有機農業に挑戦している会員の方のご配慮で、その農園の一部を『日中友好農園』と命名することを了承いただきました。

今後は作付けから収穫などの作業を協会会員にも手伝わしていただき農園で一緒にバーベキューをしたり、作物を市のイベントで販売することを計画しています。

今年は当協会にとりましては新たな出発の年となります。今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。(会長・大原一郎)

堺日中

定例総会で
井内哲義新会長が就任

アゴラリージェンシーでの定例総会の様子

平成27年度定例総会を、6月23日にホテルアゴラリージェンシーで開催、提出された議案は、すべて原案どおり承認されました。

役員の改選では、曾我部篤爾会長が退任されて顧問に就任、新会長を井内哲義がお引受けすることになりました。また副会長には荒石義一郎氏が加わり、理事には木村正明、蔵吉奎子両氏が新たに就任されました。

今後はこの新しい陣容で協会の安定した運営を目指してまいりますので、倍旧のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

民間の友好団体としては、地道な交流活動を継続して進めることが、日中両国の平和と安定に寄与するものと考えております。また、交流活動の一環としての中国訪問は、会員の皆様のご意見を伺いながら前向きに進めていきたいと思っております。

(会長・井内哲義)

犬鳴溪谷にて

第4回泉州地区4協会
交流会実施！

第4回泉州地区4協会交流会「不動明王像の前にて」

5月9日（土）当協会担当で泉州地区4地区協会（堺、岸和田、阪南、熊取）交流会を実施。危ぶまれた天候も、ちょうど散策開始時には小雨も上がり、いっそう清新な空気に包まれた感でした。総勢30名が熊取町に隣接する「大阪みどりの百選」にも選ばれ、豊かな自然と溪谷美で知られる、名勝犬鳴山に集合。新緑を愛でながら、そして濡れた山道に足元をすくわれないよう気遣いつつ散策を楽しむ組と溪流の涼やかな音を耳にコーヒータイムを楽しむ組に分かれてひとときを共にした後、参道（犬鳴山は、1300余年前に修験道の霊場として「役の行者」によって大和大峯山より6年早く開山され、現在でも行者の滝に打たれる修験者の姿を見ることができる。弘法大師空海が七瀬に七福神を祭祀されたという寺伝が残る「七宝瀧寺」の）にあるカフェテラス「空」にて犬鳴地鶏に舌鼓を打ちながら、和気藹々と交流を深めることができました。遠くからご参会頂きました方々に感謝！

4月12日（日）には、我が日中恒例のお花見旅行「八重の桜、緑の地を訪ねる」を実施。程よい天候と林会長ご令弟、隆典氏（NPO法人「結芽〈ゆめ〉」主宰）の名ドライバーのアシストに、更に会長の名ガイドにも恵まれ、楽しく充実した一日過ごしました。

武内前会長立案のコースのメイン「金戒光明寺」は、林会長の僧職修行スタートのお寺だったという緑、そのお寺は、幕末、会津藩が本陣を置き、多くの殉難者を葬る『八重の桜』緑の地。

その他多くの緑の地を訪ねた後、会長のお寺に。

他の地では、桜が終わり、少しさびしいお花見の印象。ところが、ところが、サプライズ訪問の会長のお寺で満開の八重桜と少し早咲きの満開の牡丹の大輪の歓迎を受け、一同大感激！

この後、20周年記念行事に向け、心を一つに取り組みました。
（事務局長・有岡トシエ）

設立20周年行事報告



記念講演の講師：高知県日中副会長・植野克彦氏

去る7月12日、熊取交流センター煉瓦館のコットンホールにおいて開催された第20回総会をもって、当熊取町日中友好協会はめでたく設立20周年を迎えました。総会終了後、これを記念して同会場で「設立20周年記念講演・祝賀会」を開催、総勢約70名の来場者を得て盛況の裡に会を閉じることができました。大阪府日中および各地区協会の皆様には多数ご列席いただき、また各方面よりご祝詞を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

当日の記念講演会（13：30～15：00）では、熊取町長中西誠氏の祝辞の後、NPO法人高知県日中友好協会副会長の植野克彦氏より「築こう、平和の礎—ヒバクシャからの発信—」と題する講演をいただきました。植野氏には資料を多数ご準備の上、ご自身の日中友好交流活動と広島での被爆体験に基づく貴重なお話しをしていただきました。特に後半の被爆に関するお話しは会場の涙を誘い、実体験に基づく平和への訴えは聴く者の心を震わせました。本講演会には協会関係者約50名の他、熊取町の町報を見た当日一般参加者も10名以上あったようです。

祝賀懇親会（16：00～18：30）では、中国駐大阪総領事館副領事の周明輝氏のほか、大阪府日中はじめ

各地区協会の御代表からお祝いの言葉をいただき、中国琵琶アーティストの閻杰(エンキ)氏による中国琵琶演奏や、大阪観光大学の中国人留学生の参加も含め、規模の小さい当協会の記念行事ながら大いに盛り上がりました。

ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。
ありがとうございました。(会長・林 雅清)

池田市目印

上海同済大学生のホーム ステイを受け入れて



寒山寺から友好都市25周年を記念し寄贈された名鐘の見学

池田市は中国上海の同済大学の学生のホームステイを2002年から受け入れ始めて、今年で14年になる。学生たちの日程は7泊8日でその間、池田(ラーメン記念館と伏尾温泉)、大阪、京都、奈良、神戸等に団体で観光に出かける。日曜日は女の子が多いので着物の着付けということになる。ホストファミリーは基本的に朝食と夕食、それに寝るところを提供すればよいわけで、その間夜間はコミュニケーションの時間となる。全員日本語の日常会話には問題がない。

我が家は2009年から受け入れているが、最近の子供たちを見ていると中国が急速に豊かになってきたということがよく分かる。日本には今までにも何回か来ているとか、この前ヨーロッパに行ったとかいう子も多い。また、日本のアニメをよく知っているのだが、こちらは知らないので話題にはならない。

夕食は日本の家庭料理を食べたいという希望が多いが、外食に出ることもある。回転ずしは定番だ

が、この前の子はラーメンを食べたいということで、「ディナーにラーメン?」と思ったが、連れて行くことにした。中国には日本のように美味しいラーメンはない。我が家は二世帯住宅で1階が空いているので、風呂も学生専用になるのだが、日本に来たのだから日本の風呂に入ってみたらどうかと使い方を教えても、今までの学生は皆シャワーで済ませているようで、風呂に入った様子はなかった。外見はほとんど日本人と見分けは付かないのだが、習慣は簡単に変わらないものである。

毎年、十数人の学生たちがこのように日本を訪れ、日本人の家庭で過ごして、帰国後その感想をつづった「ホームステイ文集」が刊行されるのが通例になっている。これを読むとどの家庭に行ったとしても、大変よい思い出を作って帰国しているということがよく分かる。このような草の根の国際交流を大切にしていきたいものである。(理事・喜多忠文)

大阪三島目印

総会 &

総領事館(女性)を招いて 七夕ゆかた祭りを開催



総会後に「七夕ゆかた祭り」を開催

6月27日、第5回総会を茨木市大池コミュニティで会員など17名が参加し開催。リハビリで長期療養中の大友会長に代わり、冒頭小林会長代行から大友会長の一日も早い復帰を期待しているとの挨拶があり、すべての議案が承認された。

来賓として、大藪二郎・大阪府日中副理事長が出席、メッセージ・祝電を、木本保平茨木市長、森山一正摂津市長から戴き披露された。

総会後、「ゆかた」や着物に着替えて大池コミュニ

ティセンター和室で「七夕ゆかた祭り」を開催。小林貞夫会長代行、辻紫岳文化担当理事、馮帆副領事からの挨拶で始まり、楽しくお弁当に舌鼓で和やかに懇談。日本のゆかたを初めて着たかわいい子供達や領事館員から歓声があがり、写真会を行った。

この催しには、辻理事のお弟子さんや着付けの先生など5名の方々に協力を戴きました。アトラクションとして辻理事の指導の下「詩吟」を披露し、漢詩との違いや日本の文化に親しんでいただき、文化交流を発展させることが出来ました。

今回は総領事館で開催を提案。馮副総領事から「是非開催したい」と回答があり、今後具体化へ向けに相談していくことを確認して終了しました。

摂津市で

「お父さんお母さんの 手作り餃子を作り食する会」開催



手作り餃子を食べる会

5月31日摂津市コミュニティプラザ料理教室で6名の子供さんや市民17名が参加して開催。

講師は毎年お願いしている曾麗江さん（唐山市出身）で、いつもながらの手際の良さと熱心な指導で、初参加の親子など真剣に手作り餃子に挑み汗をかきながら思い思いの形の餃子が上手に仕上がりと、沸騰した鍋に餃子を入れ水餃子が完成。手作り餃子の美味しさに思わず笑顔がこぼれ、作った餃子を自宅へ持って帰り、家族で味わっていただきました。

日中友好青少年書画展優秀作品・南京にて開催

2014年度日中友好青少年書画展で優秀作品20点が、江蘇省南京市蓮花実験中学にて6月4日～11日開催され、当協会から阪上幹夫監事、江原均事務局長が訪問し文化交流を深めました。

松原市日中

諸活動のご紹介



明石大橋を望む孫文記念館（移情閣）

今年で設立から3回目となる、神戸舞子駅近くの孫文記念館を訪れました、何度も訪れていましたが今回のコースは孫文記念館から南京街を散策の予定でした。しかし、“ここまで足を延ばしたなら明石駅まで行って名物の明石のたこ焼きを食べて帰ろうよ”という会員からの一言で予定が変わり、孫文記念館から明石駅へと直行して駅前の名物のたこ焼きを食べ、付近散策に変わり、何となく楽しい思い出になるような活動になりました。

また、8月1～2日は、松原市民まつりが開催されます、当協会ではテントブースの中に活動写真の展示と領事館より頂きました資料を配付する予定ですが、今回の寄稿にはその活動紹介が間に合いませんので次回にご紹介したいと思います。

当協会は、地域の市民交流活動には出来る限り参加して一緒に日中交流を盛り上げて色々な諸活動に振り付けなど取り込んで、より多くの地域の皆様方との地域交流を目指した有意義な日中交流活動に取り組んで参ります。会員が主体ですから色々な触手で活動計画を組んだ交流が出来たらと考えています。

〔今後の活動予定〕

1) 9月中頃には、日中料理交歓会を予定。

2) 10月の中秋明月祭には自由にお知り合いの方をお誘い合わせして人的交流・文化交流など積極的な交流活動への参加。
(会長・牛浜龍男)

会 員 消 息

技能実習生に野球体験も

私の経営する会社（液体定量吐出ディスペンサー製造業）では社内に別組織として技能実習生の監理団体を運営しており、数多くの企業様へ中国人の技能実習生をお送りしております。

また中国山東省の威海市に現地法人を設立して12年になりますが、弊社自身も今まで数多くの技能実習生を受入れ、日本で学んだ実習生達が中国現法や分公司で活躍しております。

中国人の採用は、最近では昨年11月から今年6月にかけて技能実習生を3名、また今年4月には新入社員2名を受入れ、中国人の在籍は現在7名（内1名は現地法人に総経理として出向中）となっております。

ところで今年2月に職員の福利厚生充実の一環として野球部を復活し、若手職員を中心に月1～2回の練習を行っております。部員には経験者はおりますが、初心者も多く実力的にはまだまだで、これから対外的な試合にも出られるように練習に励んでおります。



技能実習生3名、新入社員の内男子の1名は、まだ正式な部員ではありませんが野球部の練習に参加しております。中国では野球はそれ程盛んなスポーツではないため、4人ともキャッチボールやバッティングは初めてでしたが、ボールを投げたり、受けたり、打ったりと、野球の面白さを体感し新鮮な気持ちで練習に汗を流しております。

彼らに感想を聞いたところ、「難然是第一次打棒球，日本人的前輩都很熱情地教我們，通過不斷的練習，希望會打的更好。」（野球をするのは初めてでしたが、日本人の先輩たちが熱心に教えてくれました。これから

も練習をして上手になりたいです。）と笑顔で応えておりました。

技能実習生の3名は日本での3年間の実習を経たのち、将来的には中国の現地法人で活躍してもらう予定ですが、帰国後は日本で盛んな野球を中国に紹介してもらい日中友好活動の一助になればと願っております。

（守口門真日中友好協会・副会長 仲 昌男）

田中孝之さん（阪南市日中）の
著書2冊を紹介します

田中さんは1935年生まれの傘寿。阪南市日中理事で、お隣の泉南郡岬町在住。2013年の「岬町遠景と近状」に続いてこのほど「みさきのあかり」を出版しました。

前者では、現在の岬町多奈川に戦時中川崎重工と呉海軍の軍艦工場があり、軍属として働いていたお父さんが、敗戦間近に米軍艦載機の直撃弾で爆死されたこと。戦後の母子2人の生活。東京の小学生時代の疎開体験。会社員時代の中国ビジネス体験、「ミャンマーに学校を建設する会」など国際交流活動、ラグビー不毛との泉州に少年ラグビーの種を播いた経験などが謙虚な語り口でつづられています。

また後者では、斜陽とされる岬町の再生、創生への提言、台湾ビジネスの思い出、「周4原則と日中友好」などのテーマが熱く語られます。

いずれも 浮遊社刊 1000円＋税

ご連絡は田中さん Tel 072・474・3286

Eメール tnktrust-heiwa@riyer.ocn.ne.jp



編集後記

- * 8月14日の「安倍談話」。いわゆるキーワードの周囲をぐるぐる回る水増し感と情緒的な言葉使い。アジアの、世界の人々の胸に響いたのでしょうか。比べて字数では3分の1ながら、「村山談話」の的確で力強いこと。
- * 大阪府と上海市・江蘇省の友好提携35周年。その経緯は梶本副会長の寄稿のとおりです。

いずれも私達には親しみのある都市と省。11月3日からの当協会記念訪中団にはぜひ多くのご参加を。

- * 協会創立65周年でもあります。苦難を乗り越えて活動を進めてきた先人たちの足跡にいま改めて想いを。(志)

各協会の地図



計報

尾亀 清四郎氏 当協会相談役
6月11日逝去 享年101歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。

関西ブロック女性交流会のご案内

今回は滋賀県日中のお世話です。女性会員の皆様、どうぞご参加を！

記

- 日時：10月22日(木) 11時開会
- 場所：ライズウィル都賀山 守山市浮気町300-14
(JR守山駅東口徒歩3分 線路沿いに200M)
- 参加費：6,000円
- 内容：各府県発表、昼食交流会

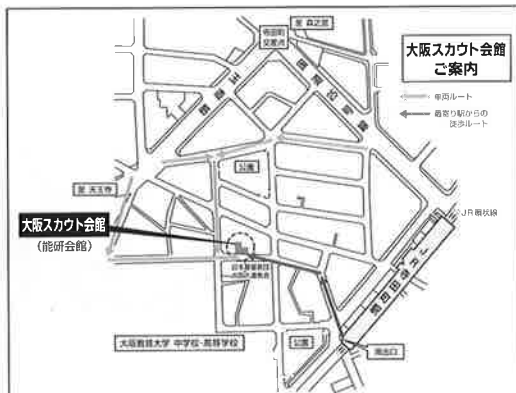
申込は9月末までに府日中事務局(柴田)へ

お気軽にお越し下さい

NPO法人 大阪府日本中国友好協会

〒543-0052
大阪市天王寺区大道5-4-6
大阪スカウト会館2F
TEL：06-6770-0080
FAX：06-6770-0707
Eメール：jcf@mail.infomart.or.jp

※日・月・祝日休み
土曜日は開いています。



当協会H/Pをご覧ください

ホームページの内容を更新、追加・充実させています。各種案内もご覧いただけます。

ぜひ、クリックしてご覧ください。
<http://www.kaigisho.com/jcf/>

Culture & Communication

株式会社
国際印刷出版研究所

〒551-0002
大阪市大正区三軒家東3丁目11番34号
TEL 06 (6551) 6854
FAX 06 (6551) 0288